

食品安全関係情報(3月28日 ~4月10日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

3月28日 ~4月10日 収集件数 (合計105/88件) (前回3月14日 ~3月27日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (4/3件)	米国 (9/10件)	カナダ (1/2件)	EU、EFSA (29/17件)	各国 (14/21件)	FSANZ等 (6/2件)	中国 (5/9件)	各国 (9/2件)	各国 (0/0件)	報道、論文等も含む (28/22件)
化学物質 (31/38件)	化学物質・汚染物質 (5件)	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1
	食品添加物 (3)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
	農薬 (10)	0	5	0	3	1	0	0	1	0	0
	動物用医薬品 (2)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	器具・容器包装 (4)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	その他 (7)	0	0	0	3	0	2	0	2	0	0
	計 (31件)	0	5	0	9	3	3	1	5	0	5
微生物・プリオン・自然毒 (17/23件)	細菌 (6件)	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2
	ウイルス (2)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (6)	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1
	計 (17件)	3	2	0	2	6	1	0	0	0	3
新食品等 (6/7件)	新食品 (1件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	GMO (4)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	健康食品 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アレルギー (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (6件)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4
肥料・飼料等 (7/4件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (7)	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (7件)	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0
その他 (44/16件)	表示 (3件)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	栄養 (1)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	その他 (26)	0	1	1	11	3	2	4	3	0	1
	論文情報 (13)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	計 (44件)	0	1	1	12	4	2	4	4	0	16
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(3月28日～4月10日収集分105件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、欧州連合(EU)によるグリホサートの認可過程における役割を終えた旨を公表
- ・デンマーク工科大学(DTU)国立食品研究所、ビスフェノール A(BPA)の評価を継続すると公表
- ・オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、ビスフェノール A(BPA)に関するファクトシートの更新版を公表
- ・Environmental Health Perspectives : 「妊娠期間中のパーフルオロ化合物を含んだ母体栄養素への周産期ばく露と長鎖多価不飽和脂肪酸及び出生時体重の関連 : 北海道での調査研究」

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・世界保健機関(WHO)、2010年に発生した世界の食中毒分析結果を発表
- ・米国疾病管理予防センター(CDC)、アイスクリーム製品が原因とみられるリステリア・モノサイトゲネスによる集団感染情報を更新
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、非動物由来食品のリスクに関する作業部会座長の談話を公表
- ・オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)
 - ・ノロウイルス感染の14%が汚染食品に起因するとの研究報告を発表
 - ・ハーブティーとハーブ入り食品に含まれるピロリジジン・アルカロイド(PA)の適正基準値に関する報告書を発表

【肥料・飼料等】

- ・米国食品医薬品庁(FDA)、アニマルフード成分の定義及び規格作成方針を発表

【その他】

- ・欧州委員会(EC)は4月1日、生鮮食肉の原産地を表示する新規法令が適用される旨公表
- ・欧州委員会(EC)保健衛生・食の安全総局(DG SANTE)、「食品安全に熱心な世界保健デー」と題する声明文を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・世界保健機関(WHO)が2015年の世界保健デーのテーマに食品安全を選んだ旨を公表
 - ・科学的評価の公開性、頑健性及び透明性の向上に関しEFSAジャーナルのエディトリアルで表明した見解に対し対象を絞って意見募集を実施した結果について技術的報告書を公表
- ・アイルランド農業・食料・海洋省(DAFM)、食肉の原産国表示に関する新たな規則の導入を公表